

# 平成30年 黒部市教育委員会9月定例会 議事録

日時 会場	平成30年9月27日(木) 午後1時30分～2時50分 黒部市役所301会議室
出席者	教育長 国香 正稔 教育委員 川崎 正美 (教育長職務代理者) 教育委員 前田 潤 教育委員 加藤 昌弘 教育委員 雪山 俊隆 教育部長 次長・学校教育課長・学校給食センター所長 学校教育班長 生涯学習課長・生涯学習施設建設推進班長 スポーツ課長・フルマラソン推進班長 図書館長・図書館構想推進班長 こども支援課長・保育所・幼稚園班長 ジオパーク推進班長 生涯学習課主幹 図書館主幹 学校教育課庶務係長 長田 行正 能登 昌幸 齊藤 誠 島崎 豊 田中 倫則 (代理出席) 川端左起子 藤田 信幸 川添 礼子 輿水 一紀 中嶋ひとみ 前林 丈雄
傍聴人	なし  (会議冒頭「市民憲章」朗唱)
教育長	只今から、黒部市教育委員会9月定例会を開会します。「議事録の署名について」は、教育長の私が署名します。次に、「8月定例会の議事録」について、訂正・質問等がありましたらお願いします。
委員	英語サマーキャンプについて、私の発言だと思うのですが、「今後の中学校英語教育のあり方」と記載されている箇所、私としては「小学校英語教育」と言ったつもりです。思いとすれば、これから小学校英語教育が変わっていくということから、小学校と言ったので、訂正をお願いします。
教育長	ご指摘の点を訂正し、議事録に署名することとします。 次に「教育長報告」をいたします。 1 所管事業の状況報告について(行事等) (1) 8月29日(水) くらべ女性団体連絡協議会研修会「市長と語る会」(市役所) 大勢の方が参加され、市長と意見交換 (2) 9月6日(木) 黒部市「2020東京オリンピック・パラリンピック」アーチェリー競技事前キャンプ誘致推進事業 日本体育大学キャンプ(健康スポーツプラザ) (3) 9月24日(月) 黒部市「2020東京オリンピック・パラリンピック」バレーボール競技事前キャンプ誘致推進事業 ケニア女子代表キャンプ(～27日)(総合体育センター) ケニア女子代表と高志野中学校の生徒との交流も行われた。  2 出席した会議等の概要報告について (1) 8月31日(金) 平成31年度富山県教育行政に対する要望事項策定委員会(富山市)

役所)

- (2) 9月14日(金) (仮称)くろべ市民交流センター第5回庁内検討会(市役所)
- (3) 9月25日(火) (仮称)くろべ市民交流センター第4回管理運営計画策定委員会(市役所)

3 所管事務に関する問題・情報等について(児童・生徒の安全・安心に関すること)  
〔前回会議以降、今回会議までの間〕

- (1) 児童・生徒の交通事故等
  - 交通事故(2件)
  - その他の事故等(2件)
- (2) 不審者情報等(なし)
- (3) 鳥獣出没情報(1件)
- (4) いじめの認知件数及び指導の経過(8月報告分)
  - ①小学校(新規認知件数0、指導中1、見守り中13、解消4)
  - ②中学校(新規認知件数0、指導中1、見守り中4、解消0)
- (5) 平成30年度在籍児童・生徒・園児数(9月1日現在)
  - ①小学校 児童数2,123人(前月比 同数)
  - ②中学校 生徒数1,062人(前月比 同数)
  - ③幼稚園 園児数 90人(前月比1人減) ※こども園含む

教育長

以上、教育長報告としますが、質問がありましたらお願いします。

委員

その他の事故等2件で確認ですが、同乗者は誰か教えてください。

学校教育班長

1件目は養護助教諭、2件目は母親です。

委員

2件目について、学校関係者はどうしたのでしょうか。

学校教育班長

すぐに教頭と担任が別の車で後をついていきました。

委員

過去、学校から関係者が救急車の後をついていって、赤信号で救急車と離れてしまったり、ある場所で見失ったことや事故が起こったこともあるのではないかと思います。例えば同乗者として養護助教諭が対応し、帰りはタクシーなどで対応するなどの方法もあると思います。十分に気をつけて、対応をお願いします。

また、合同部活動の件でもう一点確認したいのですが、通常部活動は公式戦や練習試合も含めて、保護者の送迎というのはこれまで行ってはいけないということになっていたのではないかと思います。特にスポーツ庁から出された文書や部活動に関する書類から考えると、この事例では、母親が現地まで迎えに行っていることになっています。家から学校までは子ども達は自転車や徒歩で来ますが、学校から部活動会場まで、また部活動会場から学校に戻ってくるまでが引率者の引率であって、学校が全面的に責任を持たなければならないことになっていると思います。安易に保護者に依頼するという点について、基本的には間違いではないかと思います。事故があった場合の責任は誰が問われるのかという点、学校の校長だと思っています。校長が部活動の許可をしているため、顧問が保護者の送迎で行くということを行ったかどうかに関わらず、校長が合同部活動の練習を認めている限りにおいて、校長の責任になると思います。そこで、この実態はどうなっているのか確認したいのと、校長などの管理職に周知を徹底しないと大きな責任問題になる可能性がありますので、その点についての見解を教えてください。

学校教育班長

確認したところでは、4中学校とも保護者による送迎を認めているとのことで聞き取りをしました。移動手段は、原則では公共交通機関、貸し切りバス、タクシーのいずれかで、私有車は使用しないということですが、保護者送迎による現地集合は可とする

いう運用を共通理解して行っているとのことでした。委員ご指摘の点については、法的な根拠等を調べ、確認したいと思います。

委員

付け加えてですが、共通理解しているのは4中学校の校長や小学校の校長だとすれば、その確認自体が誤りである可能性があります。共通理解していればよいというものではなく、根本的な部分において、先ほども言いましたが、部活動に関する文書などをしっかり確認してもらい、教育委員会として正しい指導を学校に対して行ってもらいたいと思います。この事例では、大事には至らなかったようですが、大きな事故が起こったときに大きなトラブルに繋がる可能性があるので、よろしくお願いします。

教育部長

ご指摘の点については私どもの勉強不足の面もあるかもしれませんので、確認をして対応したいと思います。

教育長

ほかに何かありますでしょうか。(なし)

次に議案審議に移ります。「議案第21号 平成30年度黒部市教育委員会事務の点検・評価(平成29年度事業分)について」説明願います。

教育部長

「議案第21号 平成30年度黒部市教育委員会事務の点検・評価(平成29年度事業分)について」ご説明します。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づく点検・評価を行いましたので、議案として提出するものです。教育振興協議会から答申をいただき、その概要が掲載されていますが、8月31日と9月18日の2日間に分けて、58事業についてご審議いただきました。冊子については、別冊で配付していますが、30年度点検・評価報告書となっています。内容につきましては、1ページ目に趣旨や概要が記載されていますが、教育振興協議会への諮問ということで、黒部市自治振興会連絡協議会から推薦された舟子忠明さんに教育振興協議会の会長になっていただき、ご審議いただきました。12ページ目から、目次や実際の事業が記載されています。「人間性の基礎を培う家庭教育・地域教育」として「家庭教育」における「親子での体験事業」が13ページに記載されています。事業ごとに方針・目標や事業費、趣旨等、実績・成果、点検・評価、課題・改善、今後の方向について、各担当課長から説明したのちに、委員から評価が妥当かどうかについてご意見等をいただきました。今回の審議では、委員から色々ご質問をいただきましたが、事務局の評価を変更した事業はありませんでした。最後に、学識経験者からの意見というページがありますが、本日の議決が終わった後に、学識経験者に依頼したいと考えています。説明は以上となります。

教育長

質問や意見があればお願いします。

これは、振興協議会の委員に、2日間かけて検討していただいた結果ということです。

委員

協議会において、記載内容を含め、委員からの指摘で大きく変更した点はありますか。

学校教育課長

変更した箇所はありますが、字句の修正等が主で、内容を大きく変更したということはありません。

委員

文章の修正程度ということでしょうか。

学校教育課長

そうです。

委員

分かりました。

教育長

ほかに何かありますでしょうか。(なし)

ないようですので、議案を採決します。議案第21号について、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

委員

(異議なし)

教育長

ご異議なしでありますので、議案第21号は、原案のとおり決しました。  
次に報告事項に移ります。はじめに「報告第1号 黒部市子ども読書活動推進計画策定会議設置要綱の制定について」説明願います。

図書館長

それではご説明します。現在の黒部市子ども読書活動推進計画は平成26年度から平成30年度までとなっております。子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項に基づき、平成26年3月に策定しました。現行の計画の期間満了に伴い、平成30年度において現計画の内容を見直し、策定するものです。前回の要綱が既に失効していることから、第2次計画を策定するにあたり、新たに設置いたしました。なお、今回の要綱では失効期日を設定していません。要綱内容は記載のとおりです。よろしく願います。

教育長

質問があれば願います。(なし)

次に「報告第2号 平成31年度保育所・こども園・幼稚園の入所受付けについて」説明願います。

こども支援課長

「報告第2号 平成31年度保育所・こども園・幼稚園の入所受付けについて」ご説明します。来年度の保育所・こども園・幼稚園の入所受付けについて、書類の配布を10月3日から各保育所、こども園、さくら幼稚園、こども支援課、市民サービス課において行います。受付期間は10月15日から11月2日までとしています。受付場所・時間は、各保育所、各園、こども支援課、市民サービス課としています。このうち、集中受付日を設けており、公立保育所、こども園・幼稚園、私立保育所でそれぞれ設定しています。これらの内容については、市広報10月号、市ホームページ、ケーブルテレビ等で周知します。

教育長

質問があれば願います。(なし)

次に「報告第3号 黒部市議会9月定例会一般質問・答弁要旨について」説明を願います。

教育部長

「報告第3号 黒部市議会9月定例会一般質問・答弁要旨」につきましては、代表質問2名、個人質問3名の方から質問をいただきました。要旨等を簡単に説明し、いくつか答弁内容を読み上げます。

◇代表質問(新樹会)

○辻 靖雄 議員

〔質問事項4〕学校設備環境の充実・強化について

〔質問要旨(1)～(4)〕

(1)耐震化は大丈夫か。

〔答弁：教育部長〕桜井中学校の耐震化が終われば完了

(2)トイレの洋式化の推進状況は。

〔答弁：教育部長〕小学校は49.3%、中学校は51.6%。今後の中学校統合に向けた整備により、中学校の洋式化率はかなり高くなる

(3)普通教室のエアコン設置の財源見通しは。

〔答弁：市長〕普通教室において、小学校は100%。中学校は現桜井中学校は設置済み。

現高志野中学校は今回の改造事業で設置。統合後は100%

(4)小中学校廃校の活用計画は。

〔答弁：市長〕現在、対応は決まっていない。「公共施設再編基本計画」により売却が基本となっている。

[質問事項5] 中学校の統合への準備について

[質問要旨 (1) ~ (2)、(4)]

(1) 現在の通学状況は(歩行、自転車、バス、乗車)。

[答弁: 教育部長] それぞれのパーセンテージを示し説明

(2) 通学路の整備状況は。

[答弁: 教育部長] 通学路について、市役所内で検討委員会を立ち上げ、改修等を行っている。

(4) 通学路の公表をしては。

[答弁: 市長] 統合中学校の開校に向け、通学対策は大変重要であり、特に遠距離地域にかかる対策は十二分な検討が必要であると考えている。現在、清明中学校区域における現鷹施中学校区の遠距離通学対策は、主として複数台のスクールバスの運行を軸に検討しており、対象範囲としては、東布施地区全域、田家地区全域、石田地区の黒瀬川より魚津市側を想定している。また、明峰中学校区域における現宇奈月中学校区については、主として富山地方鉄道による電車通学を軸に、一部地区ではスクールバスの運行を検討している。本件に関しては、保護者等の関心も高く、また、スクールバスの運行にあたっては停留所の設定など自治振興会や関係住民のご理解とご協力が不可欠。関係地区のPTAや自治振興会等との意見交換など必要な手続きを行ったうえで、電車、バスなどの通学方法の運用について、なるべく早期に、広報や市ホームページなどを用い周知に努めたい。

◇代表質問 (新風の会)

○成川 正幸 議員

[質問事項1] シティプロモーション(魅力発信)とシビックプライド(まちに対する誇り)の醸成について

[質問要旨 (3)]

(3) 自分たちのまちを考えるきっかけづくりとして「中学生議会」「こども議会」などは出来ないか伺う。

[答弁: 教育部長] 現在スクールミーティングを行って、市長と意見交換をしている。今後は、「中学生議会」や「こども議会」について検討したい。

◇個人質問

○高野 早苗 議員

[質問事項2] 総合公園等の利便性向上について

[質問要旨 (2)]

(2) 「名水の里」にふさわしい水飲み場を

「名水の里」にふさわしい水飲み場が足りません。名水マラソンゲストラナーの足型近くの場所に設置してある水飲み場は水が流れていませんでした。今年のような猛暑にこそ、豊かな名水をPRするチャンスだと思うのですが、噴水の水飲み場には緑の苔が生えていました。どのように認識しておられるのか伺います。

[答弁: 教育部長] 名水マラソンの際、仮設水飲み場を設けているが、マラソン時期以外に水が出ていないことがあったので、適切に対応したい。

◇個人質問

○谷口 弘義 議員

[質問事項1] 障がい者の雇用について

[質問要旨 (5)]

(5) 教育委員会の、平成30年度障がい者雇用の、調査前の実雇用率が2.16%となっている。今年度4月から2.5%に改定されている事を知っていたのか。雇用率2.5%が守られていない原因は何か。

[答弁: 教育部長] 達成できなかったことについては、教育委員会として努力が足りなかったと考えており、今後早期に雇用を進めることとしたい。

◇個人質問

○小柳 勇人 議員

[質問事項2] オンリーワンの黒部市、市民憲章を目指して

[質問要旨 (2)、(3)]

(2) 「黒部川」の治水、愛本橋の建て替え、電源開発の歴史、世界有数の扇状地、湧水群など、これまでの風土や歴史を次世代教育へ取り組む方針について問う。

(3) 経済最優先の金銭的価値観と異なる、「大自然の恵み、水の恩恵」など本市特有の価値観を市民全体で共有化していくために必要な行政の役割について問う。

[答弁：市長] 黒部は大自然が大きな魅力であり、大切なものであることから、それらの財産を大事にしていきたい。

教育長

質問があればお願いします

委員

通学路に関して話がありました。通学路、通学地区、通学方法といった用語がありますが、これらを整理して市全体として分かりやすい資料があればいいと思いました。通学路と言っても、各学校で細部のものを作っていますが、今の説明は大筋のものというか大きな範囲でのものでしょうか。

教育部長

議会でも質問されていますが、市では慣例的に通学経路という言い方を用いています。通学路は指定するとそこを通ることになりますが、気象条件や工事中などによっては別の経路を通るといった変更を考慮して、通学経路という用語を使ってきました。以前の議会で、通学路という呼び方が普通ではないかと質問されたことがあり、学校保健法が根拠法であったと思うのですが、学校で個々の子ども達について把握しているものが通学路で、それらを教育委員会が承認するという手順となります。学校が通学路を把握し、教育委員会が全体把握しているなかで、通学経路という呼び方もあるものと考えています。

委員

分かりました。

委員

去年も話しましたが、通学路の歩道の整備について、立野東交差点からT字路までの工事が始まっています。自転車通行可の歩道になるのかどうかと質問したのですが、ならないとのことでした。工事が始まっているので難しいかもしれませんが、通学路になるのであれば、可能な限り、通行可となるように検討してもらえればと思います。中学生がああ場所を通るとすれば自転車を使用するのかなと思いますし、反対に石田小に通う児童が使用するのかもしれませんが、確認して検討してもらえればと思います。

教育部長

今の話は、生地石田線における立野東交差点付近から南方面T字路までのことと思いますが、歩道と車道があって自転車通行がどのようになるのか、担当課に伝えたいと思います。

委員

中学生に限らず、自転車に乗っている人が加害者になるという心配がありますので、たまにお年寄りが歩道のないところを歩いていますが、自転車に乗っている人がすれ違うときに、さっと避けられればいいのですが、その点も心配しているところです。

教育部長

都市建設部で事業を進めていますので相談してみたいと思いますが、最終的には警察が決めることだと思っています。

委員

去年、警察に確認した話を聞いたこともありますが、しっかりしたルールがあるべきだと思いますので、またよろしくお願いします。

教育長

ほかに何かありますか。(なし)

次に、「報告第4号 課等の事業報告(経過・予定)について」報告願います。

学校教育課長

〔経過事業〕

- 8月27日 中学校統合準備委員会 第3回総務企画専門部会(宇奈月・桜井校区)
- 8月28日 中学校統合準備委員会 第3回総務企画専門部会(鷹施・高志野校区)
- 8月30日 中学校統合準備委員会 第11回制服・体操服選考専門部会(鷹・高)
- 8月31日 小中学校長研修会
- 8月31日 黒部市教育振興協議会(点検・評価審査1回目)
- 9月3日 2学期始業式
- 9月11日 中学校体育大会(8日から延期し実施)
- 9月11日 中学校統合準備委員会 第10回制服・体操服選考専門部会(宇・桜)
- 9月17日 小学校運動会(15日から延期し実施 4校)
- 9月18日 小学校運動会(15日から延期し実施 5校)
- 9月18日 黒部市教育振興協議会(点検・評価審査2回目)
- 9月19日 学校訪問:通常訪問研修
- 9月26日 中学校統合準備委員会 制服・体操服選考専門部会(同日開催)
- 9月27日 教育委員会9月定例会

〔予定事業〕

- 10月1日 学校訪問:通常訪問研修(中央小学校)
- 10月2日 学校訪問:通常訪問研修(宇奈月小学校)
- 10月3日 学校訪問:通常訪問研修(村椿小学校)
- 10月4日 学校訪問:通常訪問研修(たかせ小学校)
- 10月9日 小中学校長研修会
- 10月10日 学校訪問:通常訪問研修(石田小学校)
- 10月24日 教育委員会10月定例会
- 10月26日 黒部市小学校音楽会(5、6年生)
- 10月27日 中学校合唱コンクール(鷹施中学校)
- 10月27日 中学校合唱発表会(宇奈月中学校)
- 10月28日 中学校合唱コンクール(高志野中学校)

生涯学習課長

〔経過事業〕

- 8月29日 くろべ女性団体連絡協議会研修会「市長と語る会」
- 9月1日 「SCOTサマーシーズン2018」観劇
- 9月14日 (仮称)くろべ市民交流センター第5回庁内検討会
- 9月15日 湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月(～17日)
- 9月15日 河口龍夫展(～12/16)
- 9月15日 歴史講座「新川地域のジオと植生」
- 9月22日 親学び研修会

〔予定事業〕

- 10月5日 市指定無形民俗文化財「愛本新用水天満宮松明祭」
  - 10月16日 立山黒部ジオパークのジオサイトに関する協定書調印式
  - 10月25日 立山黒部ジオパーク日本認定更新現地審査(～27日)
  - 10月26日 市指定無形民俗文化財「生地たいまつ祭り」
  - 10月27日 第13回黒部芸術祭 黒部市美術展 表彰式
- ※公民館まつりの日程を提示

スポーツ課長

〔経過事業〕

- 9月6日 黒部市「2020東京オリンピック・パラリンピック」アーチェリー競技事

	<p>前キャンプ誘致推進事業 日本体育大学キャンプ</p> <p>○9月24日 黒部市「2020 東京オリンピック・パラリンピック」バレーボール競技事前キャンプ誘致推進事業 ケニア女子代表キャンプ（～27日）</p> <p>〔予定事業〕</p> <p>○10月7日 秋季区民体育大会（市内12地区）</p> <p>○10月21日 第13回市民体育大会陸上（大運動会）</p> <p>○10月27日 姉妹都市スポーツ交流事業（～29日）</p>
図書館長	<p>〔経過事業〕</p> <p>○9月6日 「定年後の備えと楽しみ特集」（～10月8日）</p> <p>○9月7日 「ジャパニーズ・ヒストリー特集」（～10月14日）</p> <p>○9月13日 「知っておきたい がんのこと」（～10月8日）</p> <p>〔予定事業〕</p> <p>○10月2日 14歳の挑戦（～10月6日）</p> <p>○10月12日 黒部市子ども読書活動推進計画(第2次) 第1回策定会議</p> <p>○10月25日 黒部市図書館協議会先進地視察</p>
学校給食センター所長	<p>〔経過事業〕</p> <p>○9月3日 第2学期学校給食開始</p> <p>○9月13日 学校給食訪問</p> <p>〔予定事業〕</p> <p>○9月28日 黒部地場産学校給食の日(第2回)</p> <p>○10月1日 社会に学ぶ「14歳の挑戦」受入（～5日）</p> <p>○10月11日 学校給食訪問（順次実施）</p> <p>○10月30日 黒部地場産学校給食の日(第3回)</p>
こども支援課長	<p>〔経過事業〕</p> <p>○9月3日 2学期始業式</p> <p>○9月11日 学校訪問：通常訪問研修（生地こども園）</p> <p>○9月12日 学校訪問：通常訪問研修（さくら幼稚園）</p> <p>○9月13日 学校訪問：通常訪問研修（石田こども園）</p> <p>〔予定事業〕</p> <p>○9月29日 ふれあい運動会（生地こども園）</p> <p>○9月29日 なかよし運動会（石田こども園）</p> <p>○9月29日 親子運動会（さくら幼稚園）</p> <p>○9月29日 14歳の挑戦(9/29、10/2、3、4、5 等)</p> <p>○10月上中旬 秋の遠足</p>
教育長	<p>各課等の事業報告がありました。これらについて質問があればお願いします。</p>
委員	<p>学校訪問として、石田こども園を訪問しました。子ども達は元気よく、先生は汗をかきながらしっかりと対応されていることに感銘を受けました。研修会資料の教育・保育指導案を見ると、研究協議題に「幼稚園における教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動について」という研究主題があり、幼稚園も大変な状況だと思いました。インターネットで調べると色々解説がありましたが、地域にあわせてといったことや保護者の要請に応えてといったことが出てきました。これは大変なことになっているのではないかと思ったのですが、現場では子ども達の元気な姿を見ることができました。</p>



協議会で出ている意見や現場ではどんな問題があるのか、教えてもらいたいと思います。

こども支援課長

各園で、研究主題である「教育時間の終了後等に行う教育活動」について、研究活動に取り組んでいます。三園とも同じテーマで研究していますが、今年度から改正となった幼稚園教育要領でも取り上げられており、通常の教育時間は午前8時30分から午後2時までですが、その後に、パート就労等のために預かり保育をしています。また、夏休みなどの長期休業においても、例えば仕事の都合等により、子どもを預ける方がいます。そういった際に、子どもをどのように教育していくかということについて、教育要領においても工夫して対応するようにと書かれていますが、何が問題かということ、多くの子ども達はすでに帰っていて、少人数しか残っていないという状況で、子どもからすれば、不安な状態にもなっています。しかも、子どもが少ないため、活動という面でも限られてきますし、年齢の違う子ども達が一緒に過ごすということで、通常の教育内容とは異なってきます。しかしながら、幼稚園における教育課程について一貫性を持たせる必要があります。各園では、通常時間の繰り返しということも好ましくありませんし、通常クラスの先に行くということもよろしくないということで、活動内容については大分苦労しているところです。地域の活動に参加したり、自然に触れたりといった色々な活動を、園では工夫しながら、教育の充実に向け取り組んでいるところです。

委員

色々と苦労されていることが分かりました。感じたことは、一番上のクラスにおいても、活動の説明をしているときに、2人の職員が付いており、1人は全体説明、1人はある1人の子どものサポートをしていました。もう一クラス、一つ下の年齢だと思うのですが、そちらも説明している場を見たのですが、1人の子どもがおもちゃを使って機嫌よく遊んでいました。活動の場を見ていると、特別な支援が必要な発達障害のある子どもではないかという気がしたので、先生に聞いたところ、各クラスにいるとのことでした。色々対応が必要になると思います。小学校ではスタディメイト等が付いてマンツーマンで対応する時間があると思いますが、実は中学や高校で手をかけて対応してもなかなか効果が上がりにくく、それに比べて、早い時期に関わって適切な対応をしたときに効果が大きく出てくると思います。そのような例もあったかと思えます。小さいときに専門的知識のある人が適切に対応すると非常に効果が上がりますが、多分、中学や高校では効果が上がらないことが多いと思います。視点を少し変えて、同じ経費がかかるのであれば、早い時期に対応し大きな効果を上げられるよう努めるといいのではないかと思います。専門的な方が関わることで、小学校に入学する頃には、大分落ち着いて集団での学習をスタートできると思います。スタディメイトの増員や割り振りなどの問題はありますが、早めの対応が効果につながると思います。よろしくお願ひします。

教育長

ご意見ありがとうございます。発達障害を含めて、今回問題となった障がい者雇用の話もあり、自身も今勉強しなおしているところです。今、一部の大学では、手話が必要な学生のため、講義の手話通訳も行われ始めています。合理的配慮と言われます。平等という言葉を全く同じ条件のように取られがちですが、そうではなく、それぞれの特性にあわせて、きちんと講義を受けることができるという平等を実現するという方向に向かっていく様子を見聞きすると、今ほど言われたように、小さいときから広い意味での合理的配慮が必要になってきているという気がします。

委員

ある大学では、サポートなどがかなり進んでいると聞いています。

教育長

雇用においても合理的な配慮が必要になってきて、障がい者も働くことができる環境を整える方向に向かっていると思います。

教育長

ほかに何か質問があればお願いします。(なし)  
次に、「連絡事項等」についてお願いします。

学校教育課長	(今後の日程について確認) ○教育委員会 10 月定例会 【日時】 10 月 24 日(水) 午後 3 時 30 分【会場】 201 会議室 ○総合教育会議 教育委員会 11 月定例会のあと開催。事前打合せを予定
教育部長	定例教育委員会の資料送付にあわせ、「平成 30 年度 全国学力・学習状況調査の結果について」の資料を送付しました。昨日の議会全員協議会でその内容を報告しましたので、その前に教育委員に送付したものです。今回の概要についてですが、国語 A・B、算数 A・Bに加え、3年に1回理科が加わるということで、今年度は理科が加わっています。平均正答率では、小学校、中学校とも、全国との比較では全てにおいて上回っていますが、富山県との比較では下回っているものもあります。分析内容はご一読いただければと思います。よろしくお願いします。
教育長	その資料は、公表されているものですね。
教育部長	議会に提出し議員に配付しており、報道機関にも配付されているものです。
委員	分析や追跡調査は、教育センターが主となり、継続的に行われていますか。
学校教育班長	時期を含め、適切に行っていると認識しています。
教育長	ほかに何かありますか。(なし) 色々ご意見をいただきありがとうございました。 以上で、本日の会議を終わります。

上記、議事録の正確なることを証するために、次に署名する。

平成 30 年 10 月 24 日

署名人 黒部市教育委員会 教育長 国 香 正 稔